

諮問事項に係る協働促進施策について

【協働ガイドラインの活用について】

1 PR用概要版

前回原稿案から変更する点（第10回会議より）

- ・表紙の写真を大きくする。また、写真について簡単な説明を加える。
- ・協働事例は具体的にどのような働きかけをしたのかわかるよう修正を行う。
- ・キャッチコピーについて、第11回推進委員会でいくつか候補を出して、それを基にさらに意見をいただく形で進める。

(1) 印刷について(予定)

- 1・4ページ→カラー印刷
- 2・3ページ→白黒印刷

(2) PR用概要版の原稿案 資料2-2 参照

(3) キャッチコピー案 ※「協働」を使わない

- ① 力を合わせて、可能性を広げよう
- ② 力を合わせて、新たな景色を見つけよう
- ③ 力を合わせて、未来を創ろう！
- ④ 一緒に活動することで広がる可能性！
- ⑤ 一緒なら、未来はもっと広がる
- ⑥ 一緒に創る、輝く未来！
- ⑦ 一緒だからこそ、成し遂げられること！
- ⑧ みんなで協力してまちをよくしよう！
- ⑨ 協力が、新たな扉を開くカギ
- ⑩ コラボで広がる可能性！

2 周知方法（11月配布開始予定）

(1) 協働ガイドライン概要版

- ・ UMECO登録団体への周知（400部）
- ・ 公共施設への配架（250部）
- ・ まちづくり委員会への配布（300部）

(2) 協働ガイドライン概要版ポスターA4 資料2-3参照

- ・ 公共施設での掲示（20枚）

(3) デジタル

- ・ 市やUMECOのHPに掲載
→市のHPではPDF版でダウンロードできるように
- ・ SDGsパートナーへメール（335団体/令和6年8月9日時点）
- ・ デジタルサイネージ
（3か所/ミナカ小田原・アークロード市民窓口・小田原市役所保険課前）